

いっしょに考えてみよう！

男女共同参画さんかく って何だろう？

～ぼくたち、わたしたちにできること～



さんかく

みなさんは『男女共同参画』という言葉を知っていますか。

『男女共同参画』は、今はもちろん、これからみんなが成長し、生活していく中で、家庭や学校、地域での暮らしなどのさまざまな場面で大切にしてほしいことの一つです。

みなさんもこのパンフレットを読んで、『男女共同参画』について考えてみましょう。

…こんな声が聞こえてきたよ…

お母さんは『女の子なんだからお片づけをしないおこ』っていつも怒るけど、お兄ちゃんにはあまり言わない。どうして？



ぼくのランドセルは青色。

この色も気に入っているけど、本当は、ぼくが好きなヒーローの色と同じ、赤色のランドセルがほしかったな、ってちょっと思ってる。

音楽発表会で、私のクラスは、大だいこは女の子、小だいことピアノは男の子が演奏したんだよ。他のクラスの子からおかしいって言われたけど、何も変じゃないよね。



お姉ちゃんとぼくは同じサッカーチームにはいつてるけど、お姉ちゃんばっかり『女の子なのにすごいね』ってほめられる。

ぼくだって一生懸命練習していて、同じくらいいいプレーができるのに。

なんだか悩んでいる人もいるね。

みんなの周りでも同じようなことがなかったかな？

ここで、『男女共同参画』について、みんなで考えてみよう

なや
「お悩みの解決方法がみつかるかも。」



男女共同参画って何だろう？

男女共同参画 とは、

「みんなが相手のことを思いやり、相手が自分と違うということをお互いに理解しあうことで、性別に関係なく、いろいろなことにチャレンジでき、個性や能力を生かして自分らしく輝くことができる」ことをいいます。

「**参画**」って何だろう？

大事なことを実行したり、決めたりするときに、その仲間の一員として自分の意見を言ったり、相手の意見を聞いたりして積極的に参加することをいいます。

どうして男女共同参画が必要なの？

世の中には、「男の人はこうでなくてはいけない」、「女の人はこうでなくてはいけない」といった性別によって役割を決めてしまう意識があります。

でも、好きなこと、得意なことは人それぞれです。性別が同じだから、できること、できないこと、好みや考え方と同じというわけではありません。

だれもが自分の能力を生かせる社会になったら、それは自分にとっても、社会にとっても良いことです。

「男だから、女だから」という性別による理由で、それが希望することが制限されてしまうことのないようにしなければなりません。

また、このまま人口の減少が続していくと、働く人も少なくなってしまいます。女性や高齢者などさまざまな人たちが今以上に活躍できるようにして、経済や、年金制度などの社会保障の仕組みをうまく成り立たせることが必要となります。

このようなことから、男の人も女の人もすべての人が、仕事の場や家庭など、あらゆる場面で、個性と能力を発揮できる男女共同参画の社会をつくることはとても大切なことなのです。

男女共同参画を進める

1 男女の人権を尊重します

いつでも、どんなところでも、
どんな場面でも、性別によって
差別されることはありません。



2 性別で固まった考え方にはらわれない

やりたいことを「男だから」
「女だから」「できる」「できない」
と決めつけないで、自由に選べ
るようにする。



3 男女がいっしょに考えましょう

大事なことはみんなでいっしょに
考えて、いっしょに話し合って
決めよう。



ための6つの考え方

④ 家族での生活と仕事などの活動を両立します

家のことと地域での活動や仕事が両立できるよう、家族で協力しあう。



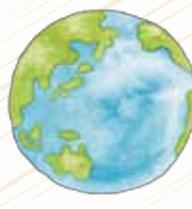
⑤ お互いの心と体を大切にする

男の人も女の人も、お互いに相手に対する思いやりをもち、心と体を大切にして、健康な生活が送れるようにしよう。



⑥ 世界の取組を取り入れる

男女共同参画について、世界で取り組まれていることを良く知ろう。



男女共同参画社会

取り組んでみよう！

1 自分も相手も大切にしよう

「それぞれ性格も好みも違うからね。」
ちが

「相手の気持ちを思いやることが必要だね。」

「自分らしさも大切にしないといけないね。」



2 自分のやりたいことに積極的に挑戦してみよう

「私は飛行機が大好き！」

「大きくなったらジェット機のパイロットになりたい！」

「毛糸で小物を作るのがとても楽しいんだ。」

「将来は、ぼくや他の人が作った作品を売るお店を開いてみたいな。」

「自分のやりたいことができるって楽しいね。」

3 きまりはみんなで話し合って決めよう

「相手の考えをよく聞いてみよう。」

「自分の意見もきちんと伝えよう。」

「みんなの意見をあわせたら、すごくいいアイデアがみつかるかも！」

4 掃除、洗濯、料理などの家の仕事は

家族みんなで分担して、協力しあって取り組もう

「お父さんは部屋を片づけて掃除機をかけよう。」
そうじ せんたく



「お母さんは洗濯物を取りこんでたたむわ。」
せんたくもの

「ぼくとお兄ちゃんは夕ごはんの買い物に行ってきます。」

「今日はみんなの大好きなカレーをつくるよ！」



づくりを目指して

こういうことはやめよう！

1 人をいじめたり、暴力をふるったりしてはいけません

「いじめは絶対にしない。」

「言葉や行動で相手の心を傷つけるようなことはやめよう。」

2 性別によって相手を差別したり、役割を決めつけてはいけません

「『男のくせに』『女のくせに』という考え方はやめよう。」

「スカートが好きな女の子もいるし、ズボンが好きな女の子もいるよ。」

「男の人も、つらかったり、悲しいときは泣いてもおかしくないと思う。」

「それぞれの性格や考え方、気持ちを大切にして、みんなで協力して取り組もう。」

いじめやイヤなことで、つらい気持ちになったら、一人で抱えこまず
だれかに相談しよう。

I(アイ)メッセージで話してみよう

「YOU(ユー)メッセージ」とは

…あなたが□□したんだから。君が□□だから。

…というように、あなた(=YOU)を主語にして相手の行動を言う言葉

→自分の気持ちを一方的に押しつけ、攻撃する言葉になってしまう。

「I(アイ)メッセージ」とは

…私は○○と思う。ぼくは○○したい。というように、わたし(=I)を主語にして、自分の気持ちを表した言葉

→自分の気持ちを素直に伝えることができる。

お互いがYOU(ユー)メッセージで話していると、ケンカになってしまふかも。I(アイ)メッセージで話すと、思いが相手に伝わりやすいね。

こんな鹿屋市をつくっていこう

『一人ひとりが 支え合い 認め合い
笑顔あふれるまち かのや』

1 いろんな場面でみんなで協力しあえるまち

かんきょう
(参画しやすい環境づくり)
たが

様々な場面で、男の人も女の人もお互いに協力しあい、
いっしょに取り組み、よいまちにしていこう。

2 だれもが安心できるまち (安心できる社会づくり)

相手を思いやる心を持ち、安心して暮らせるまちにしていこう。

3 お互いを大切にできるまち (人権に配慮する人づくり)

男女共同参画の意識を持ち、一人ひとりの能力が生かせる
まちにしていこう。

1. 参画しやすい
かんきょう
環境づくり

2. 安心できる
社会づくり

3. はいりょ
人権に配慮する
人づくり



○男女共同参画社会をつくるために、わたしたちにどんな
ことができるかな。家族や友だちと話してみよう。

発行

鹿屋市 市民課 男女共同参画推進室

〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号

TEL (0994)43-2111(内線 3171) FAX (0994)31-1170

URL <http://www.e-kanoya.net/htmbox/danjyo/>